

ひろしま木育アカデミー2023 第1回 開催報告

ひろしま木育アカデミー2023 第1回「はじめの一步編」を7月8日（土）に福山商工会議所、7月9日（日）に広島市文化財団安芸区民文化センターにて開催しました（両日同じ内容）。

はじめに、「令和4年度ひろしま木育アカデミー受講者の体験談」として計3名の方にお話しいただきました。受講のきっかけは様々でしたが、アカデミーの受講やフェスへの出展を通して木育に関する知識や経験を得ることができたことに加え、様々な人との繋がりを作ることができたこと、今後様々な場面で生かしていきたい、という共通の思いを感じました。とても分かりやすくお話しいただき、私自身もとても勉強になりました。



「木育って何？」として、委員会が考える木育と木育がなぜ生まれて広がってきたのか、全国と広島の流れや事例、目指すところ、などについてお話ししました。

次に、「簡単な木育プログラムを体験しよう」として「木のマグネット or 積み木づくり」を行いました。製作に用いた材料（木の種類と形の異なる7種類の木片）と作り方（粗さの異なる紙やすりを順番に使って削る）、作りながら感じて欲しい・考えて欲しい視点（参加者の視点：木の種類や形状による見た目、肌触り、重さ、硬さ、香り、削りやすさの違い）を説明した後、視点を意識しながら製作を行いました。最後に、実施者の視点から木育プログラムを計画・実践する際のポイントをまとめました。



製作で感じたことを踏まえ、「木材のひみつ」では、木材の組織構造、熱の伝わり方、吸湿性、木の種類による違いを実験・観察により確かめました。



最後の「今日の内容を振り返ろう」では、今日行ったこと、今日の活動を通して分かったこと、次にやってみたいことを挙げ、グループ内で共有しました。



事後アンケートにて「木育って何？」の話や最後のグループワークなどは少し難しいと感じられたとの記述もありましたが、参加者の皆さんの協力により満足度の高い充実したセミナーとなったのではと考えています。

(文責：木育普及委員会 副代表 木村 彰孝)